

2017年度 知的財産部会 活動報告

2017年4月1日～2018年3月31日

一般社団法人全日本文具協会

1. 第28回国際文具紙製品展（ISOT2017）における模倣品実態調査

国際文具・紙製品展（ISOT）では、全ての出展社に対して「模倣問題に関する誓約書」の提出を義務付け、同展における模倣品の展示・取引の防止に努めている。当協会知的財産部会は、弁理士立ち合いのもと、ISOT2017展示会場での模倣品展示についての調査を実施し、模倣品出展業者に対しては、誓約書に基づき当該商品の撤去を要請した。この取組は平成16年のISOT2004より継続して実施しており、同展における模倣品展示・取引の抑止力となっている。

実施日時 平成29年7月5日（水）10時30分～17時

実施対象 第28回国際文具・紙製品展の出展ブース

弁理士 黒川 朋也 氏（創英国際特許法律事務所 副所長・弁理士）

参加人員 27人（知的財産部会委員23人、弁理士1人、通訳1人、事務局2人）

調査結果 特許権侵害1件、商標権侵害3件、意匠権侵害2件、形態模倣1件を発見。

対応 交渉の結果、商標権1件を除く6件について権利侵害を認めた。

2. 知的財産権に関する講習会等の開催

（1）知的財産権セミナー

開催日時 平成29年7月6日（木）14時～16時30分

開催場所 東京ビッグサイト 会議棟 101会議室

第1部 基調講演

テーマ：中国政府の知財戦略と模倣品対策

講師：荒井 寿光 先生（知財評論家、元特許庁長官）

第2部 パネルディスカッション

テーマ：中国における日本企業の知財戦略と模倣品対策

モデレーター：黒川 朋也 先生（創英国際特許法律事務所 副所長・弁理士）

パネリスト：荒井 寿光 先生（知財評論家）

鷹野 亨 氏（経済産業省 模倣品対策室 模倣対策専門官・弁護士）

五十嵐伸司 氏（特許庁 国際協力課 海外戦略班長）

秋葉 隆充 氏（日本貿易振興機構 知的財産部 総括課長代理）

何 言 氏（日中知的財産保護戦略連盟 事業推進部長）

受講者数 61人

(2) 知的財産権講習会

開催日時 平成29年11月7日（火）14時～15時

開催場所 アルカディア市ヶ谷 5階 穂高

テーマ 電子情報機器業界の模倣品対策について

講師 越野 一夫 氏（セイコーエプソン(株) IP企画渉外部 部長）

受講者数 41人

3. 知的財産権交流会の開催

（一社）全日本文具協会、（一社）日本玩具協会及び（一社）日本時計協会により、知的財産権に関する交流会を開催し、知的財産権に関する情報交換を行った。

開催日時 平成29年11月7日（火）14時～17時

開催場所 アルカディア市ヶ谷 5階 穂高

内容 各業界における模倣品対策について（各団体から報告）

参加者 41人（文具20人、玩具7人、時計14人）

4. 中国冒認意匠登録のウォッチング

中国では、意匠権は無審査により登録されるため、わが国の文具製品に関する意匠権が、出願する権利のない者により出願され（冒認出願）、登録されてしまう懸念がある。

権利のない者が実施する冒認出願にともなう意匠登録の有無を検証し対応するため、日本アイアール社が提供する中国意匠公報に関する情報を、7社・2団体により共同購読した。

当該公報からの情報に基づいた模倣品対策等の企業間連携については、参加企業が個々に対応することになっている。

当協会は平成27年より情報を保管している。

以上。